

### 3 章 情報機器の所有・利用状況



### 3章 情報機器の所有・利用状況

#### 3.1 情報機器の所有、利用状況

本調査では、18種類の情報機器について、家にあるかどうか（世帯所有の有無）、自分も利用しているかどうか（個人利用の有無）、家にはないが将来ほしいか（所有希望の有無）をたずねる設問をつくり、情報機器の所有と利用の実態を調べた。テレビについては、通常のアナログ式テレビは調査対象から省き、その代わりに最近普及が始まった「デジタル放送受信装置」と「ハイビジョン対応テレビ」を項目に加えた。パソコンについては、TVチューナー付きパソコンと通常のパソコンに分けて質問した。電話については、携帯電話（PHS）と固定電話に分けて質問している。

表 3.1 はその単純集計結果を示したものである。世帯所有率がもっとも高い情報機器は「固定電話」で、「携帯電話（PHS）」がこれに続いている。第三位以下をみると、「VHSビデオデッキ」、「CD/MDデッキ・コンポ」、「パソコン」、「ゲーム機」といった順になっている。

	家にある			家にはない		無回答
	自分も利用している A	自分は利用していない B	世帯所有率A+B	将来ほしい	わからない、いらぬ	
ハイビジョン対応テレビ	12.3	3.6	15.9	<b>53.8</b>	29.1	1.1
デジタル放送受信装置(内蔵型を含む)	11.9	6.3	18.2	<b>52.7</b>	27.6	1.5
ヘッドホンステレオ(CD/MD/MP3/カセット)	30.3	21.8	52.1	7.1	39.1	1.7
CD/MDデッキ・コンポ	<b>51.6</b>	22.7	74.3	6.7	17.5	1.5
VHSビデオデッキ(DVD併用型はのぞく)	<b>63.6</b>	15.5	79.1	3.2	16.2	1.5
ハードディスク付DVDレコーダー(パソコンの内蔵はのぞく)	17.0	9.5	26.5	36.0	35.8	1.7
上記以外のDVDプレイヤー(パソコンの内蔵はのぞく)	24.7	11.2	35.9	16.6	45.8	1.6
携帯情報端末(PDA:ザウルスなど)	3.5	7.5	11.0	10.7	<b>76.2</b>	2.0
TVチューナー付パソコン(ノート型を含む)	9.4	12.2	21.6	27.9	48.6	1.9
パソコン(ノート型も含む、TVチューナー付は除く)	44.4	18.3	62.7	13.8	22.3	1.1
ワープロ専用機	7.9	17.4	25.3	3.6	<b>69.3</b>	1.7
ゲーム機(プレイステーション、ゲームボーイなど)	25.3	33.2	58.5	2.8	37.7	0.9
ビデオカメラ	29.4	19.6	49.0	18.4	31.7	0.9
デジタルカメラ(携帯電話付属は除く)	36.5	18.0	54.5	24.0	20.5	1.0
固定電話	<b>88.2</b>	6.2	94.4	1.1	3.7	0.8
携帯電話・PHS	<b>79.3</b>	8.4	87.7	4.1	7.3	0.7
ファクシミリ	44.9	13.5	58.4	13.9	26.5	1.2
カーナビ	19.6	15.1	34.7	29.0	35.3	1.0

表 3.1 情報機器の所有、利用状況 (%)

一方、現在は家にはないが「将来ほしい」という機器の上位項目をみると、「ハイビジョン対応テレビ」「デジタル放送受信装置」「ハードディスク付DVDレコーダー」「カーナビ」「TVチューナー付パソコン」などがあり、これら最近市場に出回っているデジタルAV関連情報機器への所有希望が強いことがわかる。逆に、家になく将来ほしいという希望もない機器の上位には、「携帯情報端末」「ワープロ専用機」などがあり、こうした機器は将来にわたって一般家庭に普及する可能性は低いものと考えられる。

## 3.2 属性別にみた情報機器所有、利用状況

### 3.2.1 性別にみた情報機器所有状況

情報機器の利用率を性別に比較してみると、表 3.2 のようになっている。男女で有意差のみられる機器は調査対象となった 18 項目のうち 8 項目である。2000 年の調査項目とは若干機器の種類が異なるので比較は難しいが、2000 年調査では有意差のみられる項目が 11 あったことを考えると、情報機器利用における男女差が徐々に縮まっているという傾向がみられる。

女性よりも男性の方が利用率の高い情報機器としては、DVDプレイヤー、携帯情報端末、パソコン、ワープロ専用機、ゲーム機がある。とくに、パソコンとゲーム機における男女差は依然としてかなり大きい。これに対し、女性の方が利用率の高い情報機器としては、固定電話とファクシミリがある。

表 3.2 性別の情報機器利用率 (%)

	男性	女性	$\chi^2$ 検定
ハイビジョン対応テレビ	11.9	12.7	n. s.
デジタル放送受信装置 (内蔵型を含む)	12.5	11.3	n. s.
ヘッドホンステレオ (CD/MD/MP3/カセット)	32.9	28.1	n. s.
CD/MD デッキ・コンポ	49.9	52.9	n. s.
VHSビデオデッキ (DVD併用型はのぞく)	64.9	62.5	n. s.
ハードディスク付DVDレコーダー (パソコンの内蔵はのぞく)	16.7	17.3	n. s.
上記以外のDVDプレイヤー (パソコンの内蔵はのぞく)	<b>28.1</b>	21.8	**
携帯情報端末 (PDA : ザウルスなど)	<b>4.8</b>	2.5	*
TVチューナー付パソコン (ノート型を含む)	10.2	8.8	n. s.
パソコン (ノート型も含む、TVチューナー付は除く)	<b>49.6</b>	39.9	***
ワープロ専用機	<b>9.4</b>	6.7	*
ゲーム機 (プレイステーション、ゲームボーイなど)	<b>32.1</b>	19.6	***
ビデオカメラ	30.6	28.4	n. s.
デジタルカメラ (携帯電話付属は除く)	38.3	35.0	n. s.
固定電話	85.6	<b>90.4</b>	**
携帯電話・PHS	81.0	78.0	n. s.
ファクシミリ	41.2	<b>48.2</b>	**
カーナビ	<b>24.6</b>	15.3	***

$\chi^2$  検定 \* p<0.05 \*\* p<0.01 \*\*\* p<0.001 n. s. 有意差なし

### 3.2.2 年齢別にみた情報機器の利用状況

情報機器の利用率を年齢別にみると、すべての機器について有意差がみられる（表 3.3）。10代～20代の若い年齢層で利用率が高い機器をみると、ヘッドホンステレオ、CD/MD デッキ・コンポ、ゲーム機、携帯情報端末などがある。30代でもっとも利用率が高い情報機器としては、VHS ビデオデッキ、ハードディスク付きDVDプレイヤーレコーダー、DVDプレイヤー、パソコン（TVチューナー付きを含む）、ビデオカメラなどがある。これに対し、高齢層で比較的使用率の高い情報機器としては、ハイビジョン対応テレビ、デジタル放送受信装置、ワープロ専用機などがある。これをみると、30代という年齢層が各種の情報機器を幅広く利用しているグループであることがわかる。

表 3.3 年齢別の情報機器利用率（%）

	13-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	$\chi$
ハイビジョン対応テレビ	12.4	11	10	9.6	14.1	16.1	**
デジタル放送受信装置(内蔵型を含む)	9.1	11.8	11.3	10.4	14.2	12.1	*
ヘッドホンステレオ(CD/MD/MP3/カセット)	61.2	52.6	35.8	26.1	18.5	12.1	***
CD/MD デッキ・コンポ	80.4	78.9	66.3	53.6	34.6	21.8	***
VHSビデオデッキ(DVD併用型はのぞく)	71.3	74.6	79.5	75.5	53.8	36.3	***
ハードディスク付DVDレコーダー(パソコンの内蔵はのぞく)	19.1	20.6	25.5	19	14.1	6.3	***
上記以外のDVDプレイヤー(パソコンの内蔵はのぞく)	28.7	37.7	39	28.8	15.4	6.6	***
携帯情報端末(PDA:ザウルスなど)	8.1	6.1	3	3	2.9	1.3	**
TVチューナー付パソコン(ノート型を含む)	7.7	11.4	13.3	13.2	7.1	4.2	***
パソコン(ノート型も含む、TVチューナー付は除く)	53.1	53.9	58.8	53.6	35	21.1	***
ワープロ専用機	2.9	4.4	5.8	9.9	10.9	9.7	**
ゲーム機(プレイステーション、ゲームボーイなど)	64.1	53.9	34.8	20.3	6.5	3.9	***
ビデオカメラ	10.5	20.6	56.8	44.2	21.9	11.1	***
デジタルカメラ(携帯電話付属は除く)	22	44.3	58.3	44.8	28.1	18.9	***
固定電話	75.6	69.3	90	94	93.1	93.2	***
携帯電話・PHS	79.4	94.3	93.5	88.2	74.8	52.4	***
ファクシミリ	33.5	28.9	53.5	58	46.2	37.9	***
カーナビ	2.9	14	33.8	26.1	17.4	13.4	***

$\chi^2$  検定 \*  $p < 0.05$  \*\*  $p < 0.01$  \*\*\*  $p < 0.001$  n. s. 有意差なし

### 3.2.3 職業別の情報機器利用率

情報機器の利用率を職業別にみると、表 3.4 のようになっている。ヘッドホンステレオ、CD/MD デッキ・コンポ、VHS ビデオデッキ、ハードディスクつきDVDレコーダー、携帯情報端末、パソコン、ゲーム機については、学生・生徒の利用率がもっとも高くなっている。これに対し、TVチューナー付きパソコン、デジタルカメラ、携帯電話、カーナビについては、フルタイムで仕事をしている人の利用率がもっとも高くなっている。また、ビデオカメラやファクシミリの利用率は、フルタイム、パート、専業主婦の利用率が学生・生徒や無職よりも高くなっている。

表 3.4 職業別の情報機器利用率 (%)

	フルタイム	パート	専業主婦	学生・生徒	無職	$\chi$
ハイビジョン対応テレビ	11.1	12.8	13.4	14.4	13.1	n.s.
デジタル放送受信装置(内蔵型を含む)	13.1	11.4	11.6	9.6	9.7	n.s.
ヘッドホンステレオ(CD/MD/MP3/カセット)	28.1	28.6	22.3	<b>61.6</b>	20.0	***
CD/MD デッキ・コンポ	48.3	52.5	48.8	<b>82.1</b>	32.0	***
VHSビデオデッキ(DVD併用型はのぞく)	66.7	65.0	57.6	<b>72.1</b>	44.6	***
ハードディスク付DVDレコーダー(パソコンの内蔵はのぞく)	18.9	15.3	16.8	<b>20.1</b>	6.9	**
上記以外のDVDプレイヤー(パソコンの内蔵はのぞく)	<b>28.8</b>	21.4	19.5	<b>28.8</b>	13.7	***
携帯情報端末(PDA:ザウルスなど)	4.4	1.1	1.2	<b>8.7</b>	1.7	***
TVチューナー付パソコン(ノート型を含む)	<b>12.0</b>	7.8	7.9	7.4	4.6	*
パソコン(ノート型も含む、TVチューナー付は除く)	<b>51.9</b>	36.9	33.2	<b>57.6</b>	23.4	***
ワープロ専用機	9.1	7.5	4.6	3.5	<b>14.9</b>	***
ゲーム機(プレイステーション、ゲームボーイなど)	24.0	21.1	13.4	<b>63.3</b>	13.7	***
ビデオカメラ	<b>33.7</b>	<b>34.4</b>	<b>33.2</b>	12.7	10.9	***
デジタルカメラ(携帯電話付属は除く)	<b>42.5</b>	32.5	<b>40.5</b>	24.0	21.7	***
固定電話	89.5	88.3	<b>93.0</b>	76.4	86.9	***
携帯電話・PHS	<b>87.2</b>	82.2	67.4	82.1	50.0	***
ファクシミリ	46.5	<b>50.0</b>	<b>51.2</b>	31.9	31.4	***
カーナビ	<b>25.4</b>	15.3	20.4	4.4	15.4	***

$\chi^2$  検定 \* p<0.05 \*\* p<0.01 \*\*\* p<0.001 n. s. 有意差なし

### 3.3 放送サービスの利用状況

次に、BS放送、BSやCSの有料チャンネル、地以上デジタル放送などの利用状況をみておこう。

もっとも利用率が高いのはNHKのBS放送で、CATV、民放のBS放送がこれについている。これらの放送サービスに関して、性別の利用率の違いはみられない。また、年齢別にみても、BS放送で50代以上の高齢層の利用率が高いことを除けば、利用率の年齢差はあまりみられない(表3.5)。

表 3.5 放送サービスの利用状況(全体、性別、年齢別)(%)

	全体	男性	女性	$\chi$	13-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	$\chi$
NHKのBS放送	38.4	41.1	36.1	n.s.	34.9	28.5	30.8	38.7	47.3	43.4	***
民放のBS放送	12.7	13.7	11.8	n.s.	10.5	9.2	6.3	10.4	19.6	16.8	***
スカイパーフェクトTV	7.8	8.7	7.1	n.s.	6.2	7	10	10.4	5.6	7.1	n.s.
WOWOW	7.1	7.4	6.9	n.s.	7.2	11.8	6	8.2	7.4	3.9	n.s.
スターチャンネル	1.8	1.9	1.7	n.s.	1.4	2.2	0.8	2.2	2	2.4	n.s.
CATV	18.4	18.9	18	n.s.	16.3	17.5	17.3	19.5	20.5	17.9	n.s.
地上デジタル放送	4.8	4.8	4.8	n.s.	4.3	4.8	3	4.1	5.8	6.6	n.s.

しかし、世帯年収との関連をみると、表3.6に示すように、ほとんどのサービスで有意な関連性がみられる。すなわち、どのサービスに関しても、世帯年収が高くなるにつれて、サービスの利用率も高くなるという傾向が共通にみられるのである。

表 3.6 放送サービスの利用状況(世帯年収別)(%)

	200万未満	200-400万	400-600万	600-800万	800-1000万	1000-1200万	1200万以上	$\chi$
NHKのBS放送	20.0	32.5	37.8	40.6	52.9	55.8	59.5	***
民放のBS放送	5.6	11.1	12.9	14.6	15.9	15.1	28.6	***
スカイパーフェクトTV	4.4	7.4	8.3	8.7	9.0	5.8	14.3	n.s.
WOWOW	4.4	4.5	5.3	7.8	410.1	15.1	19.0	***
スターチャンネル	0.6	0.8	2.2	1.1	3.7	2.3	8.3	**
CATV	11.3	14.6	17.6	22.1	22.2	31.4	33.3	***
地上デジタル放送	4.4	4.1	3.2	4.2	7.4	8.1	14.3	**

